

第 8 期 pES club step4 大会薬学生シナリオ

平成 21 年 6 月 28 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは亜儒坂堂病院に勤務する 4 年目薬剤師です。

波頼田伊代さんは 78 歳の女性で、約 1 ヶ月前に腹痛、嘔気、嘔吐、吐血を主訴に救急搬送され、入院しました。種々の検査の結果、全身に多発転移を認める進行胃癌と判明し、幽門部狭窄による通過障害を解除するため、姑息的胃切除術が施行されました。その後、術後化学療法と疼痛緩和目的にオピオイドを開始することになりましたが、波頼田さん本人の強い希望で、あなたに服薬指導の依頼がありました。

実は、入院当初の家族からの要望で、波頼田さんに対しては病名告知（癌の告知）が実施されておらず、胃の感染症治療のために手術を行ったと説明されています。本当の病名を知っている家族は、同居の夫と隣県に住んでいる娘、娘婿のみです。

課題：

波頼田さんの服薬指導計画を立案し、必要と思われる準備を全て行った上で、実際に服薬指導を行って下さい（10 分間）。なお、波頼田さんは、身長 143 cm、体重 43 kg、Cr 0.7 mg/dL です。

【処 方】

Rx.1	TS-1 カプセル(20mg)	4Cap		
			2 x M A	14TD
Rx.2	ロキソニン(60mg)	3T		
	ムコスタ(100mg)	3T		
			3 x nde	14TD
Rx.3	MS コンチン(10mg)	2T		
			2 x M A	14TD